



鎮痒消炎薬

ポリマッククリーム

皮膚炎、かゆみ、湿疹に

ポリマッククリームは…

- 皮膚の炎症を抑える非ステロイド性抗炎症剤のプフェキサマクに、血行を促進する酢酸トコフェロール配合で、カサカサした皮膚炎、かゆみ、湿疹に効果をあらわします。
- 殺菌剤のイソプロピルメチルフェノール配合で、かきこわしによる二次感染を防ぎます。
- 添加物のN-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルヘキサデカナミドは生体成分セラミドの働きがあります。
- しっとりした使用感のクリーム基剤です。



使用上の注意



相談すること

- 次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - (3) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (4) 湿潤やただれのひどい人。
- 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください
 - (1) 使用后、次の症状があらわれた場合



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感(ヒリヒリ感)、光線過敏症(本剤を使用した部位に日光があたって起こる発疹・発赤等)

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
接触皮膚炎	塗布部に発疹・発赤、かゆみ、はれ、かぶれ等があらわれ、これらの症状が全身に広がり、重症化することがある。

- (2) 5～6日間使用しても症状がよくなる場合

〔効 能〕

皮膚炎、かゆみ、湿疹、かぶれ、ただれ、おむつかぶれ、あせも、日やけに伴うほてり・いたみ・かゆみ

〔用法・用量〕

1日数回患部に適量を塗布します。

〔用法・用量に関連する注意〕

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (4) 外用にのみ使用してください。

〔成分・分量と働き〕100g中

成 分	分 量	働 き
ブフェキサマク	2.5g	皮膚炎、湿疹、かぶれなどによる炎症やかゆみを抑えます。
酢酸トコフェロール	0.5g	血行をよくして患部の治りを早めます。
イソプロピルメチルフェノール	0.1g	細菌に優れた抗菌力をあらわします。細菌による二次感染を防ぎ、湿疹やかぶれなどの悪化を防ぎます。

添加物として、N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルヘキサデカナミド、ミリスチン酸オクチルドデシル、ミリスチン酸イソプロピル、ワセリン、ステアリン酸、セタノール、ステアリン酸グリセリン、ポリオキシエチレンオレイルエーテル、ポリオキシエチレンセチルエーテル、パラベン、エドト酸Na、pH調整剤を含有します。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 使用期限をすぎた製品は、使用しないでください。



◎お手当のアドバイス

1. 患部を清潔にしたのちポリマッククリームを塗布します。
2. 指先で強くこすらないように薄く塗布します。治りかけてきたら回数をへらしてください。

副作用検査救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めの
お店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号